



磯崎 翔太
(創政会)

質問項目

- ・水道事業について
- ・スポーツ事業について
- ・多文化共生推進プランについて

水道事業の公設民営化について所見は

効果的な方法の導入なども慎重に検討

議員

水道法の改正に伴い、地方公共団体が水道事業者等としての位置付けを維持しつつ、厚生労働大臣の許可を受けて水道施設に関する公共施設等運営権を民間事業者に設定できる仕組みが導入可能とされた。上水道事業に係る同方式の導入についての判断は。

水道事業所長

導入に当たってのメリットは財政負担の減少が見込まれること、デメリットは事業者側の経済性優先のコスト削減により、人口減少によるエリア縮小などサービス低下への懸念が生じることなどが挙げられる。当市は起伏が多く、水源や水道施設が多数点在する非効率な地域特性を有しているため、民間事業者の参入可能性は低いものと推察している。公設民営化のみではなく、より効果的な方法の導入など、今後慎重に対応する。

スポーツ事業

議員

ラグビーの新リーグが開幕した。地元チームが新リーグに参入するに当たり、当市に与える経済波及効果は。また、地域の結束等にどのような影響を及ぼすか。

文化スポーツ部長

釜石鶴住

居復興スタジアムで行われる試合は、昨年と比較して大幅に増加する。観戦客がもたらす宿泊費、飲食費、交通費、商品購入費といった消費が期待され、試合開催に伴い投入される総支出額である直接効果に加え、間接的な効果も地域に及ぶと考える。新リーグが実現すべきミッションとして「地元の結束、一体感の醸成」が挙げられている。地元チームがこれまで以上に市民に愛され応援したいチームになっていく活動を支援するとともに、ラグビーの興奮と感動を共有できる環境を作ることで一層の地域の結束、一体感の醸成に繋がるものと考えている。

多文化共生推進

議員

多文化共生推進プランにおける「外国人市民

等の社会参画」とは何を想定したものか。

市長

コミュニケーションの中で、日本人市民と外国人市民等の心の壁を取り除き、地域の行事や活動に積極的に参加しながら、地域に暮らす方と一緒にまちづくりを行うことで安心して暮らせるまちとなることだ。



釜石市水道事業所